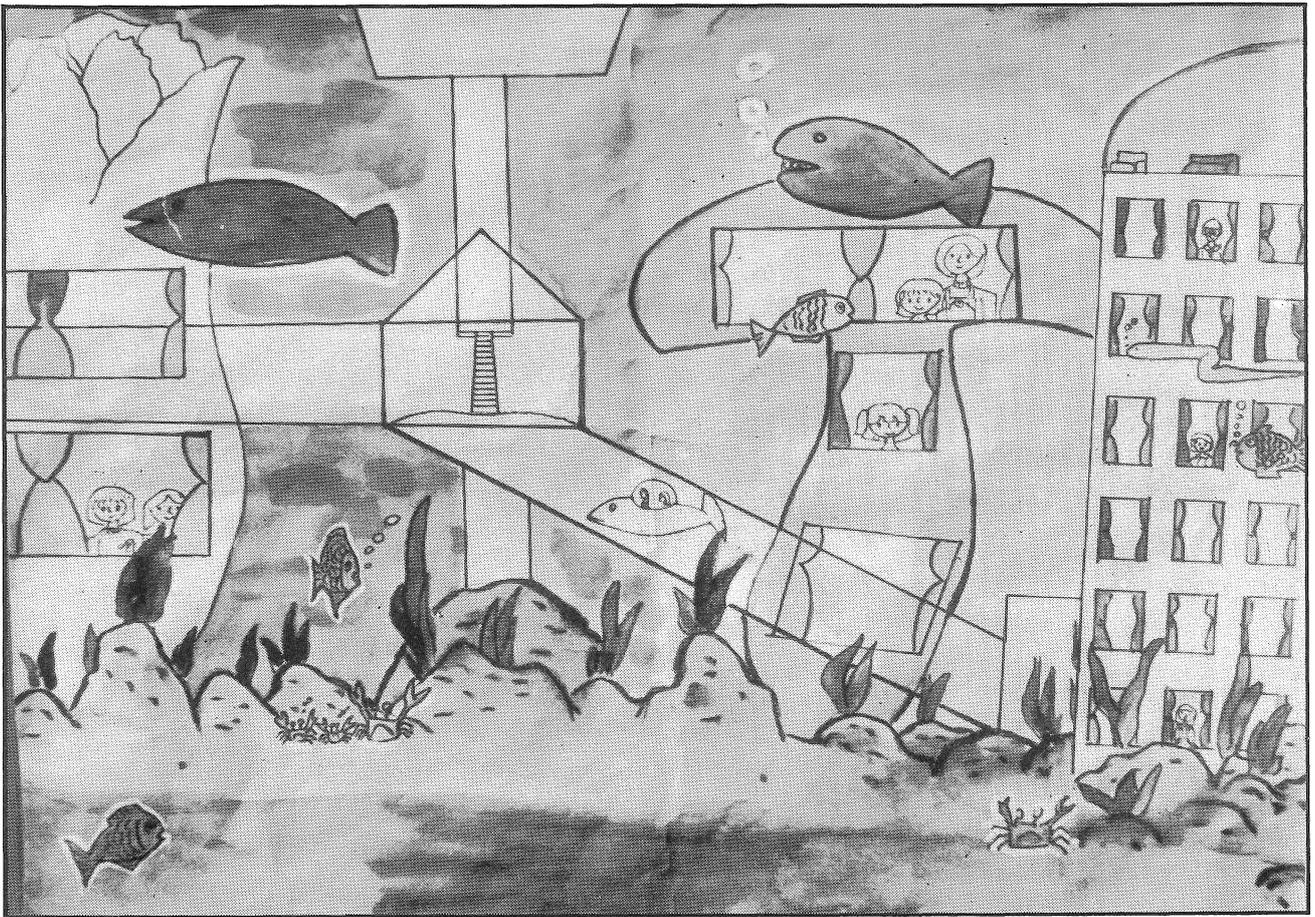


広報 ながはま 7月号



浮かんでいきます。みなさんは、いかがですか？



海中ハウスはいかが？

沖浦 大下 恵子 (10歳)

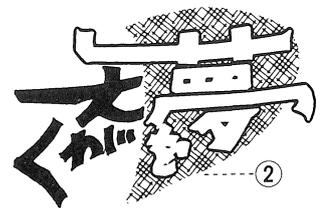
ーもいなあ。

考えれば考えるほど、楽しいことが、

つきつき、いっぱい

長浜は、家がたつたんびに、土地がせまくなっていく。だから、海の中に、マンションとか住宅とか、ちよつとかわつた、やさいの住まいとかを、たてたいなと思ひます。

海の中で住んでいたら、ながめもいし、魚も見えるし、いいなあ。魚の乗り物で、上がったり下がったりするエレベーター



こんな町になったらなあ…！より豊かさを求めて、あすへの夢を育てよう。表紙は、あなたにも夢を求めます。

国保税^{さらに}11.7%引き上げ

増大する医療費にやむなく

町議会第3回臨時会

長浜町議会第三回臨時会が、五月三十一日に開かれ、国民健康保険税の引き上げ案件など七議案を原案通り可決。また、陳情文書など四報告案件を受理採択しました。

可決されたこと、受理採択されたことのうち、おもなものは次の通り。

国民健康保険 税条例の一部が改正されました。それによると、五十四年度分から①保険税の最

高限度額十九万円を、二十二万円に②被保険者均等割額一人当り九千円を、一万円に③世帯別平等割額一万五千円を、一万六千円に④低所得者の負担軽減処置として、

被保険者一人当りの軽減加算額十六万円を、十六万五千円に―など、改められます。なお、これらを含めて、今回の改正にともなう国保税の引き上げ率は、一一・七％になります。

引き上げの理由は、国保加入者の医療費がさらに増大し、五十四年度は自然増だけで一〇・九％が見込まれ、これまでの税では、まかなえきれなくなつたためです。

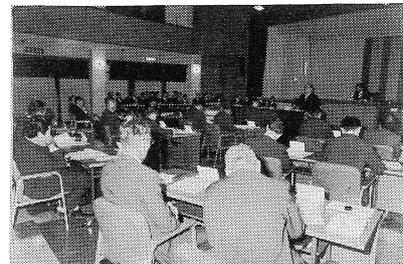


しおり

炎天下の戸外から、冷房のよく効いた室内に入ったときの心地よさは何ともいえないものです。でも、室内の温度は外気より摂氏5程度低いのが健康上よく、暑いかからといって温度を下げすぎるのは体にもよくないし、電力も余計に使うことになります。冷房の適温は、摂氏26度以上が一つの目安です。

ところで、長浜町役場の冷房設備はこの夏も「扇風機」が唯一。来庁の皆さんに、クーラー冷房のあの心地よさはサービスできませんが、ご了承ください。職員のノーネクタイにもご理解を。

商工開発課を 振興課に変更



町役場の商工開発課を、六月一日から「振興課」に変更することになりました。

変更の理由は、この課では商工振興、新港湾建設促進、国道用地買収交渉などの事務を行っていますが、今後

町の基本構想の見直し、基本計画の策定など、関連する一連の事務を統括して行うため、地域振興にふさわしい課名にする方が、分かりやすいため。

出漁漁港災害復旧は 旧は斉藤建設

五十四年度に行う出漁漁港防波堤災害復旧工事を、三千三百三十万円、櫛生の斉藤建設株式会社

財調基金に六千万円

53年度一般会計補正

昭和五十三年度一般会計予算に、今回六千三百五十二万九千九百九十九円が補正されました。

今回の補正は専決処分したもので、国から交付される交付金、地方債の最終配分が確定したことに

と、請負契約を締結することが承認されました。

よるものです。

おもな使いみちは、財政調整基金積立金に六千万円など。

農協長からの陳情書を受理採択

長浜町青果農業協同組合理事長二宮重憲氏から、町議会議員各位あてに提出されていた「柑きつ類予措追熟施設設置助成について」の陳情文書は、受理採択され、ただちに町理事者に送付して、その主旨に沿うよう、善処を求めることになりました。

6月から

部の係を

統廃、改名

町役場

長浜町役場では、行政事務の運営をより円滑にするため、この六月一日から、次の通り機構を一

合開発推進

西田代議士へ初の公式陳情

町議会 先進流通港も視察

流通基地開発を主軸とする新総合開発を推進するために、きわめて重要な行程といえる代議士への公式陳情と先進地視察が、このほど町議会によって行われました。ことの重要性から当然、町からは二宮町長が同行。町議会と町が一丸となって、開発推進のための実質的行動の第一歩を切りました。

陳情はむろんわが町から選出されている西田代議士に對

するもの。ほぼ全員の議員と町長は一路、東京永田町の衆議院第一議員会館七二九号室へ。

前もってその知らせを受けていた西田代議士は、一行を丁寧に迎え入れ、郷土出身ならではの、しばらくは各議員や町長となごやかに歓談が行われました。

陳情は二宮町長、桜田議長が要旨を説明、両者名による陳情文書を手渡しました。代議士はこれに「サツと目を通しましたが、もとも

と新総合開発は、長浜町が生き残るために、ぜつたいにやらなければならないこと」と、自らもすでにあらゆる分野で積極的指導助言を行ってきたこと。西田代議士は「政治力だけで実現できるものではない。地域のみなさんと一丸とならなければ、この夢は築けない。総力を結集してがんばってほしい。私も全力を傾ける」と述べ、この場でも、

新総

一行は力強い励ましやアドバイスを受けるほどでした。初の公式陳情を終えて、桜田議長は「国政に地元選出議員を得ている重要

大規模開発進む秋田港へ

一方、先進地視察は、流通基地開発との関連を最大のポイントに、秋田県の秋田港を、また、私たちの町にとってもきわめて重要な基盤産業である「農業」を見るため近代農業のモデル地区、同県の大潟村を視察。

秋田港視察は、まず、運輸省第一港湾建設局秋田港工事事務所で、秋田湾地区開発基本計画の説明を受けました。このあと、港湾施設の現地視察が、あいにくの雨の中バスを走行させて行われました。同港は昭和七十年完成を旨さず秋田湾を一本化した大規模開発の中で整備が進められています。とくに、物資別の専用岸壁、五万トン

さ、心強さは替えがたいことを改めて感じる」と。また、二宮町長は「先生の存在をなくしては、この開発の実現は不可能だ」と語っていました。

モデル農業にも共通の悩み見る

もう一つの視察、大潟村は八郎潟の干拓地に誕生した村。米と野菜生産中心の農業。開村時に農業を志す者に割り当てられた一戸平均農地面積は十五ヘクタール。したがって完全な機械化農業であり、当町農業形態との関連性は薄い。しかし、この先進農業といわれる中にも、減反対策や借入金返済の問題など、共通する悩みをかかえていることに、一行の関心が高まっていました。ただ、この地の農業は、大型規模のものであるだけに、失敗に対する警戒も強く、そのため経営研究には、きわめて厳しい熱心が伺えます。

ある議員は「共通する悩みも多い。農業が生き残るためには、国の抜本策を求めてゆかにやいかん」と声を高くしていました。



西田代議士室で陳情を行う議員一行



二宮前団長と引き継ぎの握手を交わす津田団長



久保一光副団長

団長は、町長が

消防団長に津田忠士氏

副団長に久保一光氏

長浜町消防団長に、今坊の津田忠士氏(五

〇)、副団長には沖浦の久保一光氏

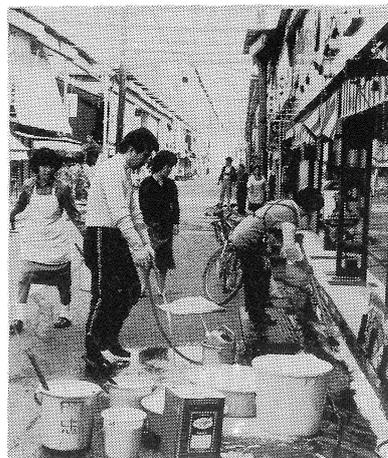
(五〇)が決まり、五月三十一日付で就任しました。これは、二宮義徳氏が長浜町教育長に就任したことなどにより、五月三十一日付で団長を辞任したため、新しい人選を行ったことによるものです。



サイレンを聞いたらず道をゆずろう

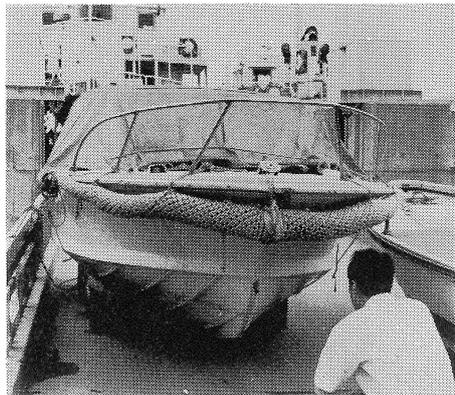
火事といえば消防車、急病人といえは救急車、事件発生ときはパトカー……いざというとき、もつとも頼りになるのが、これらのいわゆる「緊急自動車」です。一分一秒を争って目的地にかけつけ、火を消し、人命を救い、事件を解決する、それが緊急自動車です。これら緊急自動車のサイレンを聞いたらず道をゆずるようにはしましょう。

- ▽部改めました。どうぞよろしく。
- ▽商工開発課を振興課に改めるとともに商工係、企画係、調整係をおきました。
- ▽総務課の公車管理係を庶務消防係に統合したほか、広報係と有線係を統合して広報有線係に改めました。
- ▽住民課の施設係を福祉施設係に改めました。
- ▽農林水産課の農政係を農業係に、計画係を農林施設係に、それぞれ改めたほか、土地改良係を廃止しました。
- ▽建設課の庶務係を管理係に統合しました。



「清掃の日」 大半が実施

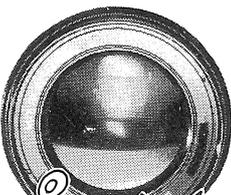
今年から毎年五月第三日曜日は「清掃の日」。第一回目はやや不ぞろいの地区もみられたが、それでも大半が実施。この夏の蚊やハエの発生防止にも効果が期待できそう。



「ごろうさん」 救急艇が退任

青島地区のみなさんの救急医療の海の足として七年間活躍してきた医療救急艇「ひまわり」が六月十二日、老朽のため退任。同艇は昭和四十

七年に
和四十
寄贈さ
れたも
の。今
後の急
患対策
には漁
船を活
用。



わだいな
ばっちり
水



盛会です 「充実の ひととき」

一年前に誕生した白濁茶道愛好会は、毎週盛會。会員も徐々にふえて十五人。いずれも女性。二十歳代から七十歳代までと層も広々。

「身も心も引き締まり、とても充実のひとときです。次回が待ち遠しくて待ち遠しくて」と……。

「花 通り」 築地沿線は

名付けて「築地花通り」とでも言おうか。黒田築地の沿線約三百メートルは、このところいろいろな花が植えられ、道ゆく人の足を留めてくれる。沿線に住む人たちが日ごろ丹精込めて育てているたまもの。



わだいな 話題

わだいな水族館

「気けん直してアナゴン」 いぜん絶食、人気抜群なのに

○：ともかく食事をとって元気を出して、この夏は、赤字水族館の汚名返上のためにも、ひとつトップスターぶりを発揮してもらいたいもの。

○：県下で唯一、日本で最小のわが長浜水族館に、ウワツと驚くばかりの大魚が目見え、一番人気を呼んでいる。その大魚こと、体長一・三七メートル、体重五・五キロ、胴回りが一升ビンほどの大アナゴン。人呼んで「アナゴン」。

○：五月六日。脇川河口から約四キロ沖に仕掛けた黒田築地の中川浮雄さん（四二）のハエナワにかかった。ハリを飲み込んでみている仲間をガブリと共食したのが運のつき。古老の漁師でさえ「こんなバケモノ初めてじゃ」

○：「こんな大きいのは普通ならようつり上げんが、つり上げてくれといわんばかりに、ふしぎに軽々上がりよった」ということ。なのにアナゴン殿、この人間様の手厚いもてなしのどきが気に入らないのか……。

○：「この人がこのモサ、へ奇贈。ところがこのモサ、狭い水そうに入れられてゴキゲンななめなのか、今だに絶食中。館長も「広報紙に紹介するまで生きとるかなあ」と首をかき上げて見通し不安。



これが今、水族館で人気No1の「アナゴン」
(持ち上げている人が、つり主の中川浮雄さん)



見つけたら駆除しよう

セイタカアワダチ

今の季節です。見つけしだい抜き取るか、刈り取ってくださいませんか。セイタカはぜんそく、血膜炎、鼻炎などを引き起こす原因といわれるほか、繁殖力がおう盛で他の野草を絶やしてしまいます。

表彰***

大成 豊功さん

【ほた木】農林大臣賞

五月三十日、松山市の愛媛県民

館で開催された愛媛県民の進会に、町内の生産者も多数が出品。その結果、農林大臣賞を含む十三点が入賞。一等賞以下は、尾崎健三県森林組合連合会長代理から表彰されました。

入賞者は次の通り。

【一般もの】三等賞 上田虎雄(豊茂) 奨励賞 上田諭(豊茂) 努力賞 久保要子、中野富加(いずれも戒川) 徳山峰子(柴)

【箱もの】一等賞 上田虎雄(豊茂) 努力賞 村上興一(櫛生)

鈴木佳照(出海) 上田諭、大成淳(いずれも豊茂) 徳田平八郎(戒川) 徳山峰子(柴)

【ほた木育成の部】農林大臣賞 大成豊功(豊茂)

【町連合青年団】ソフトは 大和卓球は 出海が優勝

青年団の五十四年度ソフト、卓球大会が、小雨日よりの五月十三日、長浜中学校グラウンドで開催されました。

大会には町内の七つの団チームが出場。熱戦の結果、次の通りの成績となり、菊地敏行町教育委員長から、それぞれ表彰されました。

【ソフトボール】優勝 大和 準優勝 出海 三位 櫛生

【卓球】優勝 出海 準優勝 長浜 三位 豊茂

ソフト部で準優勝したチームは、六月三日河辺中学校で開催された郡大会に出場。ソフトは準優勝、卓球は三位に入賞し、菊地敏行町村教育委員会連合会長から表彰されました。

43人を異動

3人を課長補佐に昇格

長浜町職員の人事異動を六月一日付で行いました。

今回の異動者は総数で四十三人。内訳は課長級二人、課長補佐級九人、係長および主事級十一人、書記および書記補級二十一人。このうち課長級の二人、課長補佐級の二人、係長および主事級の三人は職名だけの変更。また、三人が昇格異動しています。

二宮町長は、今回の異動について「小教精鋭、能力第一主義を

イントとした。また、職員個々の能力が、さらに開発できるよう、また、職員間の和と連帯による行政効果がさらに期待できる職員構成に重点を置いた」と述べています。四月に課長級の異動を行い、五月に新しい助役、収入役、教育長

が決まり、六月に一般職員の異動を終えたことにより、これで、二宮町政の新しい態勢が、すべて整ったこととなります。六月一日付で異動した職員は次の通り。()内は旧任。○は昇格。

【課長級】総務課主幹兼課長補佐友沢敏(総務課主幹) 農林水産課長兼土地改良区事務局長久保弘(農林水産課長)

佐兼社会教育係長山崎一義(商工開発課長補佐兼商工係長)

【課長補佐級】住民課長補佐兼福祉施設係長○木下保利(建設課公共係長) 衛生課長補佐兼衛生係長渡辺敬(総務課長補佐兼文書係長) 衛生課長補佐兼環境係長矢野克(住民課長補佐兼施設係長) 農林水産課長補佐○中田晋(農林水産課農地係長) 振興課長補佐兼企画係長仲田源一(建設課長補佐兼管理係長) 建設課長補佐兼庶務系長大元宗一(水道課長補佐兼庶務系長)

【係長および主事級】総務課技術専門員窪憲一(総務課公車管理係長) 総務課技術専門員大野泰俊(総務課有線係長) 総務課文書係長平見朝子(住民課年金係長)

建設課長補佐兼管理係長○藤沢豊彦(建設課庶務係長) 水道課長補佐兼庶務工業用水道係長久保博道(農林水産課長補佐兼土地改良係長) 教育委員会教育課長補

【税務課取納係長】衛生課技術専門員兼ごみ焼却場、火葬場主任藤本富雄(建設課港湾係長兼港務所長) 農林水産課農地係長兼農業委員会書記笹本栄一(衛生課環境係長) 農林水産課主事平田豊子(教育委員会教育課主事) 振興課商工係長下田健三(商工開発課開発係長) 建設課公共土木係

建設課長補佐兼庶務系長○藤沢豊彦(建設課庶務係長) 水道課長補佐兼庶務工業用水道係長久保博道(農林水産課長補佐兼土地改良係長) 教育委員会教育課長補

【税務課取納係長】衛生課技術専門員兼ごみ焼却場、火葬場主任藤本富雄(建設課港湾係長兼港務所長) 農林水産課農地係長兼農業委員会書記笹本栄一(衛生課環境係長) 農林水産課主事平田豊子(教育委員会教育課主事) 振興課商工係長下田健三(商工開発課開発係長) 建設課公共土木係

建設課長補佐兼庶務系長○藤沢豊彦(建設課庶務係長) 水道課長補佐兼庶務工業用水道係長久保博道(農林水産課長補佐兼土地改良係長) 教育委員会教育課長補

【税務課取納係長】衛生課技術専門員兼ごみ焼却場、火葬場主任藤本富雄(建設課港湾係長兼港務所長) 農林水産課農地係長兼農業委員会書記笹本栄一(衛生課環境係長) 農林水産課主事平田豊子(教育委員会教育課主事) 振興課商工係長下田健三(商工開発課開発係長) 建設課公共土木係

長浜町職員録

本 庁

憲博 重孝 宮田居 二門土 町助 長役 収入

総務課

森 友沢 高橋 亮 高橋 亮

主幹兼課長補佐 友沢 敏 高橋 亮
課長補佐 高橋 亮
(庶務消防係)
(兼)係長 高橋 亮

技術専門員 窪 憲一
技師 西本 幸雄
技師 成田 信重
書記 都築 住江
書記 上地 末子

書記補 戎 徹
婦人交通指導員 稲垣美恵子
嘱託 神内百合子

(企画財政係)
係長 山本 勝延
書記 上川 慶信

(管財係)
係長 叶本 正
書記 友沢あつ子

(文書係)
係長 平見 朝子
書記 横道 里見
書記 城戸 広美
書記補 藤岡 章男

(広報有線係)
係長 山下 国広
技術専門員 大野 泰俊
主事 仙波 久枝
技師 都築 小富
技師 久保美恵子
技師 三浦 直重
技師 菊地 直美

課長補佐 池上 昭夫
課長補佐 石住 武俊

税務課

課長補佐 池上 昭夫
課長補佐 石住 武俊

(住民税係)

石住 武俊
吉田 直人
小西 貫一

(兼)係長 石住 武俊
書記 吉田 直人
書記 小西 貫一
書記 山下 一仁
書記 新田 道夫
書記 久保 文章

(固定資産税係)
書記 久保 文章
書記 大野 初子
書記 橋本 忠則
書記 浪本 忠則

住民課

課長補佐 酒井 義禹
木下 保利
木下 保利
木下 保利

(兼)係長 山根カヨ子
書記 久保田健市
書記 井上 裕重
書記 清水 康則
書記 大橋 京子

(年金係)
書記 西田 孝
書記 松本 治子

(住民係)
書記 中野 貴夫
書記 亀田 稔
書記 城戸 茂利
書記 大本みつ子
書記 宇根やす子

課長補佐 小川 平
課長補佐 渡辺 敬
課長補佐 矢野 克

衛生課

課長補佐 小川 平
課長補佐 渡辺 敬
課長補佐 矢野 克

(衛生係)

渡辺 敬
小林 吉安
石本紀美子
一宮 和子
原間 雅子

(兼)係長 渡辺 敬
書記 小林 吉安
書記 石本紀美子
書記 一宮 和子
書記 原間 雅子

(國保係)
書記 政所 友邦
書記 浦上恵美子
書記 矢野 克
書記 久保 博昌

農林水産課

課長補佐 久保 弘
波多野 進
波多野 進
中田 晋

(兼)係長 波多野 進
書記 平田 豊子
書記 三秋 敦司
書記 上満 治雄
書記 宇都宮芳文

(農林施設係)
書記 山根 勇一
書記 二宮 正昭

(農地係)
書記 笹本 栄一
書記 日野 敏子

課長補佐 泉 芳信
課長補佐 宮田 猛義
課長補佐 仲田 源一

振興課

課長補佐 泉 芳信
課長補佐 宮田 猛義
課長補佐 仲田 源一

(企画係)

仲田 源一
田中 宏幸
西岡 敏博
西山 健市

(兼)係長 仲田 源一
書記 田中 宏幸
書記 西岡 敏博
書記 西山 健市

(商工係)
書記 下田 健三
書記 大本 昭裕
書記 吉田 明美
書記 宮田 猛義
書記 洲尾 計邦

建設課

課長補佐 上田 邦彦
丸山 寿一
丸山 寿一
大元 宗一
藤沢 豊彦
藤沢 豊彦

(管理係)
書記 藤沢 豊彦
書記 宮下紀久重
書記 清水 俊三

(建築係)
書記 丸山 寿一

(工務係)
書記 佐々木晋一
書記 中野 健蔵
書記 森川 純行
書記 菊地 洋一
書記 森内雄二郎
書記 山本 安広
書記 岡田 好光
書記 楠野 茂利
書記 稲田 宏
書記 中田 主助

課長補佐 上田 邦彦
課長補佐 丸山 寿一
課長補佐 丸山 寿一
課長補佐 大元 宗一
課長補佐 藤沢 豊彦
課長補佐 藤沢 豊彦

會計室

課長補佐 上田 邦彦
課長補佐 丸山 寿一
課長補佐 丸山 寿一
課長補佐 大元 宗一
課長補佐 藤沢 豊彦
課長補佐 藤沢 豊彦

水道課

宮岡 龜古
大國 尚子

課長 真鍋 典秋
課長補佐 久保 博道
(庶務・工業用水道係)
書記 久保 博道
書記 松本伊代子
書記 重松 直博
技師 窪 清一

(工務係)
技師 草川 勝義
技師 坂東 敏幸
技師 矢野上和雄

書記 草川 勝義
書記 坂東 敏幸
書記 矢野上和雄

教育委員会

教育委員長 二宮 義徳
課長 石丸 英雄
課長補佐 山崎 一義
山本 辰雄

(學校教育係)
書記 和田 正義

(社會教育係)
書記 山本 辰雄
書記 清水 早苗
書記 山崎 一義
書記 菊地 邦求
書記 松岡 陽規
書記 高左 潔
書記 藤枝 廣美

書記 山本 辰雄
書記 清水 早苗
書記 山崎 一義
書記 菊地 邦求
書記 松岡 陽規
書記 高左 潔
書記 藤枝 廣美

議事事務局

書記 日田 稻生
書記 三秋レイ子

出 先

54年6月1日現在

連絡所

- (喜多灘連絡所) 村上 隆志
- (兼主任)
- (榊生連絡所) 山本多喜男
- (兼主任)
- (出海連絡所) 垣見 正志
- (兼主任)
- (相生連絡所) 久井 一
- (兼主任)

保育所

- (長浜保育所) 山本美智子
- 主任 池田スミ子
- 母 沢田 幸子
- 吹春みね子
- 梶本 幸子
- 佐竹千恵子
- 河内 厚子
- 宮本 邦子
- 浪本 満子

技手

- (白滝保育所) 下田 美澄
- 主任 永尾 弘子
- 母 三好 五月
- 水沼栄美子
- 上満 裕子
- 児玉クミ子

所長

- (沖浦保育所) 西宮 幸子
- 主任 西田 清子
- 母 矢間栄津美
- 菊地さと子
- 吉岡とよ子
- 山本 直美
- 鈴木 朝子
- (榊生保育所) 大藤 恭子

- (豊茂連絡所) 菊地 英夫
- (兼主任)
- (白滝連絡所) 滝内 仁
- (兼主任)

老人ホーム

- 園長 大野 智
- 園長補佐兼生活指導員 隠岐 龍法
- 書記 熊本 真弓

- 主任 萩森理恵子
- 母 平野 悦子
- 宇都宮由美子
- 鈴木佳代子
- 田丸 富枝

- (出海保育所) 玉井 徳美
- 主任 大成 節子
- 母 石川 令子
- 児玉 智代
- 白石 玉子
- 笹本 直江

- (大和保育所) 谷川 俊子
- 主任 田村 恒子
- 母 木之本律子
- 中上 幸子
- 久井 智子
- 岡崎美智子

- (喜多灘保育所) 山本コトエ
- 主任 藤淵美枝子
- 母 大野ギン子
- 泉 友江

- (豊茂保育所) 西岡 房子
- 主任 宮岡 民子
- 母 矢野 越子
- 西山みち子
- 横山 典子
- 都田 悦子

- 調理員 都田 悦子

- 看護婦 平田由美子
- 主任 大野 良子
- 母 清水 藤子
- 富岡トシコ
- 一宮トモエ
- 清水 愛子
- 松本 和重
- 上田ミドリ
- 山中イチエ
- 永木喜美子

- 主任 萩森理恵子
- 母 平野 悦子
- 宇都宮由美子
- 鈴木佳代子
- 田丸 富枝

- (今坊隣保館) 村上 隆志
- 主任 山本多喜男

診療所

- (青島診療所) 赤丸 恵子
- 看護婦
- (榊生診療所) 高田 美香
- 看護婦
- (出海診療所) 宝生 房子
- 看護婦
- (豊茂診療所) 坂田 嘉代
- 看護婦
- (白滝診療所) 平田美佐子
- 看護婦

- (兼主任) 村上 隆志
- (榊生公民館) 山本多喜男
- (兼主任)
- (出海公民館) 垣見 正志
- 主任 久井 一
- (豊茂公民館) 菊地 英夫
- 主任 滝内 仁

- (兼主任) 村上 隆志
- (榊生公民館) 山本多喜男
- (兼主任)
- (出海公民館) 垣見 正志
- 主任 久井 一
- (豊茂公民館) 菊地 英夫
- 主任 滝内 仁

- 嘱託 矢野 覚男

港務所

- 所長 大元 宗一
- 書記補 藤本 修二

学校

- (長浜小学校) 寺坂 満子
- 用務員
- (長浜中学校) 坂井 英雄
- 用務員
- (長浜中学校寄宿舎) 菊地 郁子
- 寮母 中谷トリエ
- 調理員 松本イツミ
- 臨時雇 西宮 登美

公民館

- (兼主任) 村上 隆志
- (榊生公民館) 山本多喜男
- (兼主任)
- (出海公民館) 垣見 正志
- 主任 久井 一
- (豊茂公民館) 菊地 英夫
- 主任 滝内 仁

- (兼主任) 村上 隆志
- (榊生公民館) 山本多喜男
- (兼主任)
- (出海公民館) 垣見 正志
- 主任 久井 一
- (豊茂公民館) 菊地 英夫
- 主任 滝内 仁

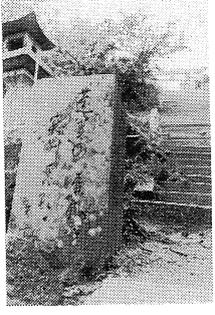
- (兼主任) 村上 隆志
- (榊生公民館) 山本多喜男
- (兼主任)
- (出海公民館) 垣見 正志
- 主任 久井 一
- (豊茂公民館) 菊地 英夫
- 主任 滝内 仁

- 嘱託 三石むめ志

すこしづ、降間
絶ねばつもる雪
自楽齋

まある山
自楽齋

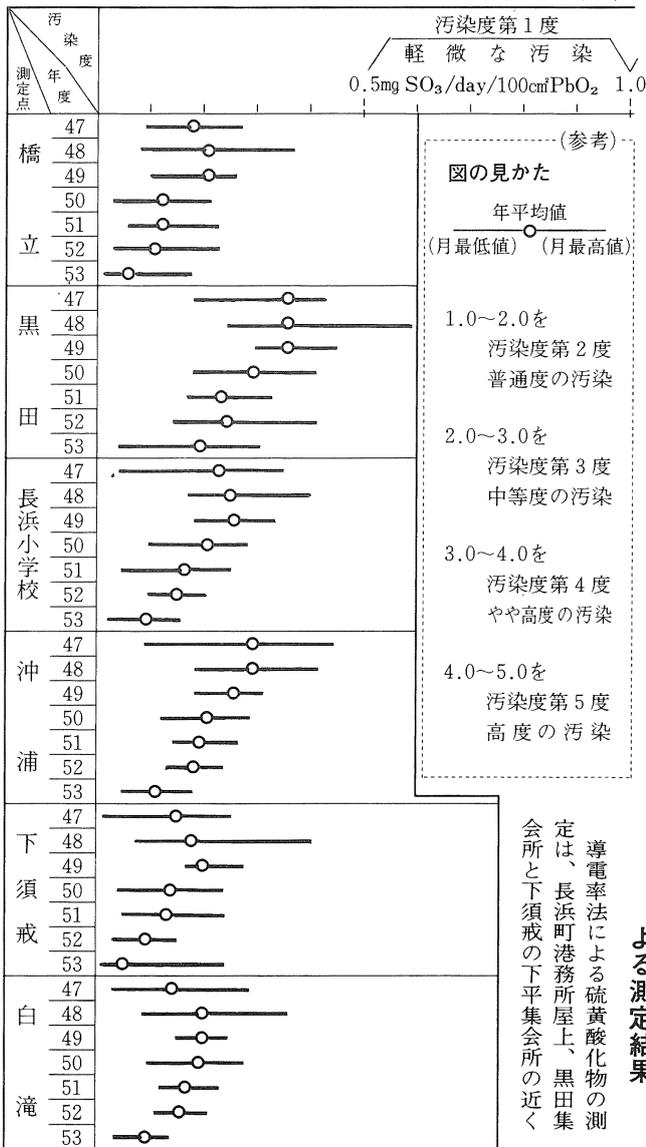
出海金比羅社の立石俳句
社が建てられ、急傾斜の石段が二百三段。二十〜三十段上るごとに両側に約三十五枚角高さ七・八十枚位の立石があり、周囲に俳句と作者、文化、文政、天保の年が刻まれている。作者名は自楽齋、歌遊、芳午、そのうち歌遊と芳午は当時の俳書に見える。出海の宝銭寺、喜木の常昌寺の墓やくり出しを見ると、三人は二宮家であり、西川屋、泉屋と号し、出海から喜木へ移っている。これらの俳句は二十三句。以前は三十四句も読めたというが……。三人のうち歌遊は金比羅詣での一步講の世話役をしていたが、郷里の金比羅へも立石、燈籠、狛犬などを奉献した。芳午は後京都へ出て天才的俳人として活躍した。県内では珍しく、町有形民俗文化財として指定したものである。(町文化財保護審議会委員・久保七郎)



筆跡もみごとに立石俳句

査結果報告

図3 二酸化鉛法測定による硫酸化物濃度の経年変化 (47~53年度)



それぞれの調査結果をまとめてみて、その結論から先に述べます

県下でも汚染度の低い地域にあるといえます。

汚染の進行みられず

と、長浜町の大気の汚染は、調査を開始したときの状態より進行しておらず、

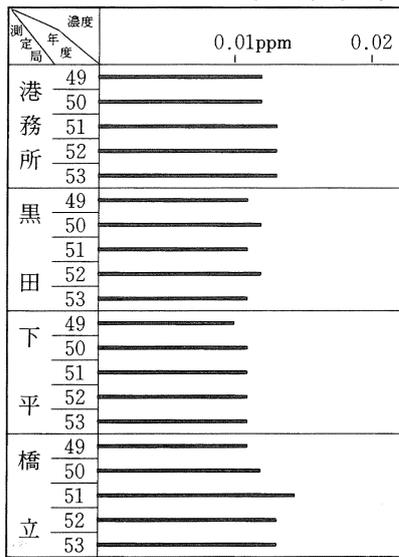
結論

大気汚染は、水質汚濁とともに広い範囲にわたって、人の健康と生活環境に悪影響をおよぼすものです。おもに、工場、事業場から排出される硫酸化物、窒素酸化物、ばいじん、粉じん、自動車から排出される一酸化炭素、窒素酸化物、炭化水素などによって引き起こされます。私たちの町にもこれら大気汚染源があるため、硫酸化物、浮遊粉じん、降下ばいじんの測定を行ってまいります。

そこで、前号の水質汚濁調査結果報告に続き、本号では、大気汚染調査結果を報告します。

なお、状況を少しでも分かりやすくするため、県発行の白書「五十三年版・愛媛の公害」も参考にしました。

図1 導電率法測定による硫酸化物年平均値の経年変化



ほぼ横ばい 下降気味

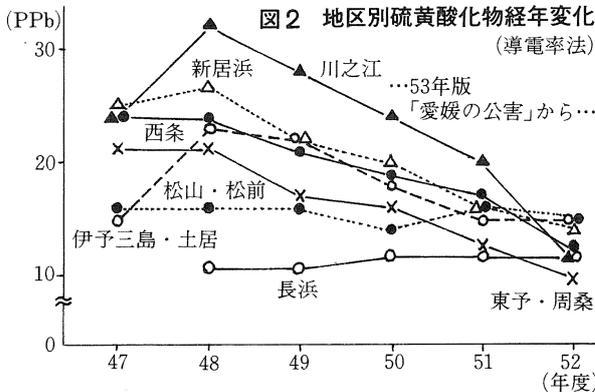
硫酸化物の測定は、導電率法と二酸化鉛法の二つの方法で行っています。

各一度だけ基準オーバー

導電率法による測定結果

導電率法による硫酸化物の測定は、長浜町港務所屋上、黒田集会所と下須戒の下平集会所の近く

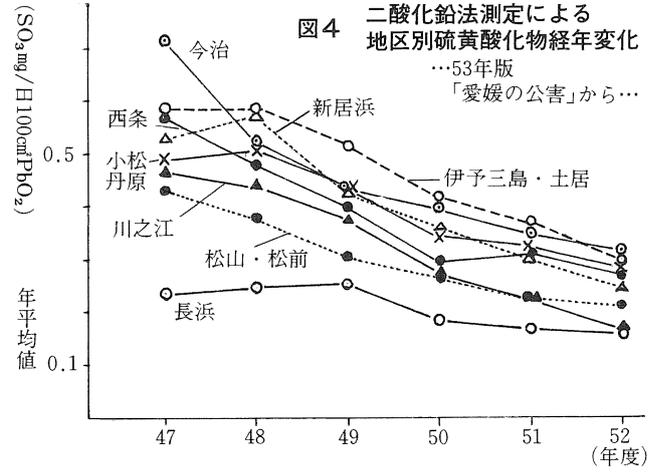
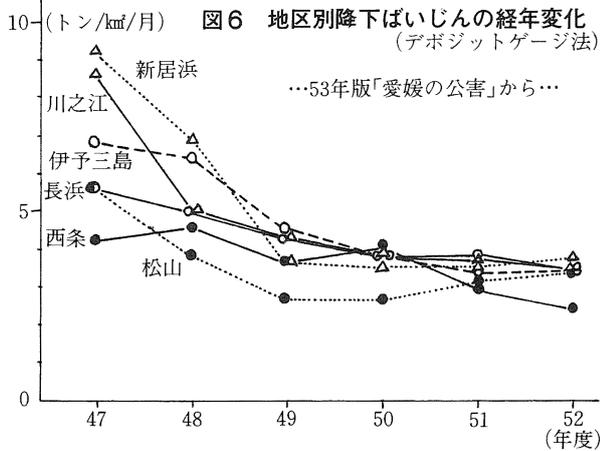
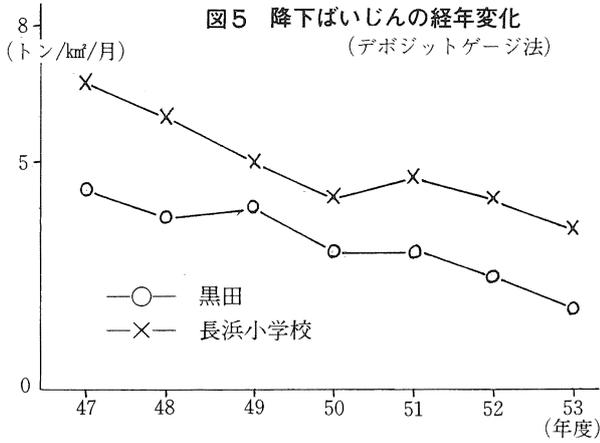
図2 地区別硫酸化物経年変化 (導電率法)



一、三か所です。四十八年九月から、今坊の橋立(県設置)で四十九年六月から、行ってきています。五十三年度までの測定結果をみてみますと、環境基準値の一時間値・一PPMを超えた時間は、まったくなく、また、環境基準の長期評価による日平均値・四PPMを超えた日は、測定開始直後の四十八年十一月に、港務所と黒田の測定点で、一日あっただけで、その後は、まったくなく、環境基準の適合率は一〇〇%となっています。

各測定点での年平均値の経年変化は図1の通りです。これによると、ほぼ横ばいの状態で、測定開始以来、硫酸化物による大気汚染は進んでいないといえます。また、これを五十二年までの県内各地の状態と比較すると、図

大気汚染の調



二酸化鉛法による測定結果

2の通りです。
二酸化鉛法による硫酸化物の測定は、今坊の橋立、黒田、長浜小学校、沖浦、下須戒、白滝の六か所で、四十七年度から行ってきました。
各測定点での測定結果は、図3の通りです。それによると、四十八年四月に黒田で〇・六二を記録して、汚染度第一度(〇・五以下)になったことがあるだけで、それ以外は、すべて汚染度第一度以下であり、汚染されていない状態が続いています。
年平均値の経年の変化をみると、全測定点で下降の傾向にあります。また、これを県内各地の状

降下ばいじん

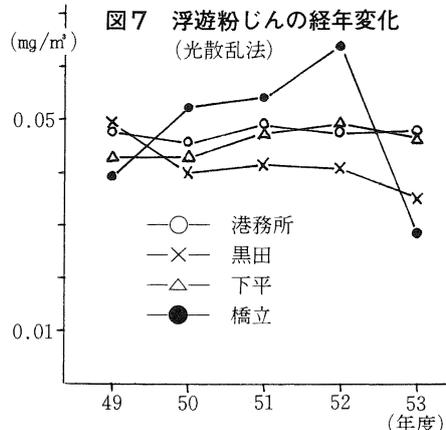
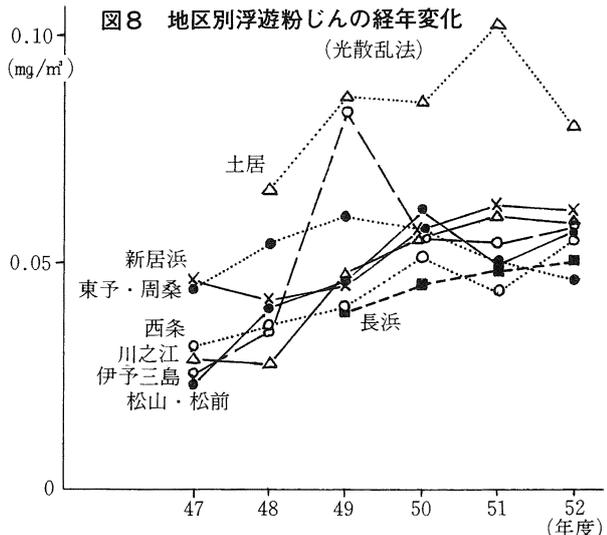
下降の傾向

態と比較してみると、図4の通りで、長浜は汚染度のもっとも低い
降下ばいじんの測定は黒田と長浜小学校の二か所で、四十七年度から行ってきました。
各測定点での年平均値の経年変化をみると、図5の通りで、下降の傾向にあります。また、これを県内各地の状態と比較してみますと、図6の通りです。こ

浮遊粉じん

横ばい状態

浮遊粉じんの測定は、導電率法による硫酸化物の測定と同様、港務所、黒田、下平で四十八年九月から、橋立で四十九年六月から、行っています。
各測定点での年平均値の経年変化は、図7の通りで、横ばい状態です。また、これを県内各地の状態と比較してみると、図8の通りで、長浜町は低い方です。



同程度であるのは、自然環境によるホコリ、潮風などが大きな要因であり、工場などの特定発生源からではないと考えられます。

地区となっています。

